【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成21年4月2日(2009.4.2)

【公開番号】特開2006-350997(P2006-350997A)
【公開日】平成18年12月28日(2006.12.28)
【年通号数】公開・登録公報2006-051
【出願番号】特願2006-39427(P2006-39427)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/048　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　7/15　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５５Ａ
Ｈ０４Ｎ　7/15　６３０Ｚ
Ｇ０６Ｆ　3/14　３５０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成21年2月13日(2009.2.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ネットワークを介してデータを送受信し、該データに関連するウィンドウを、該データを送信する送信装置と共有する端末装置であって、
前記ウィンドウに表示するデータを送受信するデータ通信手段と、
前記データ通信手段で受信されたデータに関連するウィンドウを表示画面に表示するウィンドウ表示手段と、
前記データ通信手段において前記ウィンドウを更新する更新データが受信された際に、該更新データが、該更新データの内容に基づく第１のウィンドウ表示条件に合致するか否かを判別するデータ条件判別手段と、
前記データ条件判別手段によって、該更新データが第１のウィンドウ表示条件に合致すると判別された場合に、前記ウィンドウ表示手段により表示されるウィンドウを該更新データに基づいて更新して表示する表示情報更新手段とを備えていることを特徴とする端末装置。
【請求項２】
前記データ条件判別手段は、前記更新データが、画像データ及びドキュメントデータの少なくとも何れか一方を有するプレゼンテーションデータを含むか否かを判別することを特徴とする請求項１に記載の端末装置。
【請求項３】
前記データ条件判別手段は、前記更新データが、画像データ及びドキュメントデータの少なくとも何れか一方を指定できる識別子を含むか否かを判別することを特徴とする請求項１に記載の端末装置。
【請求項４】
前記データ条件判別手段は、前記更新データが、図形データ及び文字データの少なくとも何れか一方を有するアノテーションデータを含むか否かを判別することを特徴とする請求項１に記載の端末装置。

【請求項５】
前記データ条件判別手段は、前記更新データが、特定の重要度及び状態の少なくとも何れか一方を指定する識別子を含むか否かを判別することを特徴とする請求項１に記載の端末装置。
【請求項６】
前記データ条件判別手段は、前記更新データが、緊急及び警告の少なくとも何れか一方を示す識別子を含むか否かを判別することを特徴とする請求項１に記載の端末装置。
【請求項７】
前記データ条件判別手段は、前記更新データが、自身の端末装置を指定する識別子を含むか否かを判別することを特徴とする請求項１に記載の端末装置。
【請求項８】
前記データ条件判別手段は、前記更新データが、自身の端末装置に関連付けられたユーザを指定する識別子を含むか否かを判別することを特徴とする請求項１に記載の端末装置。
【請求項９】
前記端末装置は更に、
前記データ通信手段で該更新データが受信された際に、前記ウィンドウの表示状態に基づく第２のウィンドウ表示条件に合致するか否かを判別するウィンドウ表示条件判別手段を有し、
前記表示情報更新手段は、前記ウィンドウ表示条件判別手段によって、前記ウィンドウの表示状態が第２のウィンドウ表示条件に合致すると判別された場合に、前記ウィンドウ表示手段により表示されるウィンドウを前記更新データに基づいて更新して表示することを特徴とする請求項１～８の何れか１項に記載の端末装置。
【請求項１０】
前記ウィンドウ表示条件判別手段は、前記ウィンドウが、閉じているか否かと、最小化されているか否かと、最前面に表示されているか否かとのうち、少なくとも何れか１つを判別することを特徴とする請求項９に記載の端末装置。
【請求項１１】
前記端末装置は更に、
前記データ通信手段で該更新データが受信された際に、入力機器の使用状況を判別する使用状況判別手段を有し、
前記表示情報更新手段は、前記使用状況判別手段により判別された入力機器の使用状況に応じて、前記ウィンドウ表示手段により表示されるウィンドウを前記更新データに基づいて更新して表示することを特徴とする請求項１～８の何れか１項に記載の端末装置。
【請求項１２】
前記表示情報更新手段は、前記使用状況判別手段によって入力機器が使用されていないと判別された場合には、前記入力機器の使用が一定時間停止された後に、前記ウィンドウ表示手段により表示されるウィンドウを前記更新データに基づいて更新して表示することを特徴とする請求項１１に記載の端末装置。
【請求項１３】
請求項１～１２の何れか１項に記載の端末装置を複数有し、更にそれら複数の端末装置を通信可能に相互に接続するためのネットワークを有することを特徴とするネットワークシステム。
【請求項１４】
ネットワークを介してデータを送受信し、該データに関連するウィンドウを該データを送信する送信装置と共有する端末装置のウィンドウ表示方法であって、
前記ウィンドウに表示するデータを送受信するデータ通信工程と、
前記データ通信工程で受信されたデータに関連するウィンドウを表示画面に表示するウィンドウ表示工程と、
前記データ通信工程において前記ウィンドウを更新する更新データが受信された際に、

該更新データが、該更新データの内容に基づく第１のウィンドウ表示条件に合致するか否かを判別するデータ条件判別工程と、
前記データ条件判別工程によって、該更新データが第１のウィンドウ表示条件に合致すると判別された場合に、前記ウィンドウ表示工程により表示されるウィンドウを該更新データに基づいて更新して表示する表示情報更新工程とを備えていることを特徴とするウィンドウ表示方法。
【請求項１５】
請求項１４に記載のウィンドウ表示方法の各工程をコンピュータに実行させることを特徴とするコンピュータプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
本発明は、このような問題点に鑑みてなされたものであり、端末装置においてウィンドウが非表示であってもそのウィンドウにおける表示の変化をユーザに把握させるようにすることを目的とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明の端末装置は、ネットワークを介してデータを送受信し、該データに関連するウィンドウを、該データを送信する送信装置と共有する端末装置であって、前記ウィンドウに表示するデータを送受信するデータ通信手段と、前記データ通信手段で受信されたデータに関連するウィンドウを表示画面に表示するウィンドウ表示手段と、前記データ通信手段において前記ウィンドウを更新する更新データが受信された際に、該更新データが、該更新データの内容に基づく第１のウィンドウ表示条件に合致するか否かを判別するデータ条件判別手段と、前記データ条件判別手段によって、該更新データが第１のウィンドウ表示条件に合致すると判別された場合に、前記ウィンドウ表示手段により表示されるウィンドウを該更新データに基づいて更新して表示する表示情報更新手段とを備えていることを特徴とする。
本発明のネットワークシステムは、前記端末装置を複数有し、更にそれら複数の端末装置を通信可能に相互に接続するためのネットワークを有することを特徴とする。
本発明のウィンドウ表示方法は、ネットワークを介してデータを送受信し、該データに関連するウィンドウを該データを送信する送信装置と共有する端末装置のウィンドウ表示方法であって、前記ウィンドウに表示するデータを送受信するデータ通信工程と、前記データ通信工程で受信されたデータに関連するウィンドウを表示画面に表示するウィンドウ表示工程と、前記データ通信工程において前記ウィンドウを更新する更新データが受信された際に、該更新データが、該更新データの内容に基づく第１のウィンドウ表示条件に合致するか否かを判別するデータ条件判別工程と、前記データ条件判別工程によって、該更新データが第１のウィンドウ表示条件に合致すると判別された場合に、前記ウィンドウ表示工程により表示されるウィンドウを該更新データに基づいて更新して表示する表示情報更新工程とを備えていることを特徴とする。
本発明のコンピュータプログラムは、前記ウィンドウ表示方法の各工程をコンピュータに実行させることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
本発明によれば、端末装置においてウィンドウが非表示であっても、そのウィンドウにおける表示の変化をユーザに把握させることができる。